

電子・電機・産業機械等業種の進捗状況の概要(2013年度実績)

	目標指標	基準年度 /BAU	目標水準	2013年度実績	進捗率	想定比	2014年度 の見通し	目標の引き上げ	CO2排出量 2013年度実績 (万t-CO2)	2020年以降の 「低炭素社会実行計画」 策定状況
電機・電子温暖化対策連絡会	エネルギー原単位+	2012年度	▲7.73%	▲7.08%	92%	708%	▲2%	-	1285	エネルギー原単位 年平均▲1%改善 2012年度比▲16.55% (案)
日本ベアリング工業会	CO2原単位++	1997年度	▲23%**	▲22.7%**	99%	-	▲22.9%**	-	84.3	検討中
日本産業機械工業会	エネルギー原単位	2008～2012 年度5カ年平均 (調整中)	▲8%*	▲5.8%*	73%*	142%*	▲2%*	-	63.9	検討中
日本建設機械工業会	エネルギー原単位+++	2008～2012 年度5カ年平均	▲8%	▲16.8%	211%	1633%	▲2%	-	50	検討中
日本工作機械工業会	エネルギー原単位	2008～2012 年度5カ年平均	▲8%	▲5.1%	62%	521%	▲2%	-	36.3	検討中

(注1)2013年度実績及び2014年度の見通しについて、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

* 日本産業機械工業会は調整中の基準年度(2008～2012年度5カ年平均)に基づき算定。

(注2)「進捗率」は、目標水準と比較した2013年度実績の比率。【進捗率=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-2020年度の目標水準)×100(%)】

(注3)「想定比」は、2013年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-当年度の想定した水準)×100(%)】

(注4)「目標の引き上げ」は、低炭素社会実行計画においてこれまで目標を変更した年度及びその水準。

(注5)電力のクレジット等調整後排出係数(受電端)と各業界のクレジット量等の償却量・売却量に基づいて算定。

** 日本ベアリング工業会は電力排出係数0.305kg-CO2/kWhに基づき算定。

(注6)着色している業種は、2013年度実績において進捗率が100%を超過している業種。ただし、各業種とも、最終的には2020年実績で目標を達成することとしている。

(注7)エネルギー原単位目標を掲げる各団体の生産活動量は、以下の団体を除き「生産額」を採用。

+ 電機・電子温暖化対策連絡会は「エネルギー原単位の改善率」を指標としている。 ++ 日本ベアリング工業会は「付加価値生産高」を採用。 +++ 日本建設機械工業会は「売上高」を採用。

電子・電機・産業機械等業種の進捗状況の概要(2013年度実績)

	低炭素製品・サービス等による他部門での貢献	海外での削減貢献	革新的技術の開発・導入
電機・電子温暖化対策連絡会	—	—	—
	定量的分析あり	定量的分析あり	—
日本ベアリング工業会	—	—	—
	—	—	—
日本産業機械工業会	—	—	—
	—	—	—
日本建設機械工業会	定量的分析あり	—	—
	—	—	—
日本工作機械工業会	—	—	—
	—	—	—

(注1) 上段は計画に掲げられた削減貢献ポテンシャルについて、下段は削減貢献ポテンシャルに対する2013年度実績について、それぞれ定量的分析の有無を記載。